

子育てジャーナル



発行人 四ツ釜雅彦
 公益社団法人 全埼玉私立幼稚園連合会・幼児教育センター
 全埼玉私立幼稚園PTA連合会
 〒330-0063 さいたま市浦和区高砂4-13-21 私学会館新館
 TEL 048(863)7811 FAX 048(863)7761
 http://www.youchien.ed.jp

No.88
 2018(平成30)年
 11.1

「生きる力」を育む教育

電車にて

一人として大切なこと



(公社)全埼玉私立幼稚園連合会
 名誉会長 平原 隆秀

他に空席も見当たらないので、仕方なくそのまま優先席の前に立っていました。

先日、ホームで電車待ちをしていた時のことです。長旅の帰りでもとても疲れていたため、一緒にいた付き添いの先生が足元に優先席マークがある場所を見つけ、先頭に並ばせてくれました。電車が入ってくると座席はほぼ満席でしたが立っている人はおらず、三人がけの優先席に一つ空きがありましたので、私は「ようやくく座れる」と、ほっとしました。

しかし、ドアが開いたその時、後ろから若い女性がさっと入り込んで、その席に座ってしまったのです。私達は呆気にとられてしまいました。周囲を見回すと立っているのは私達二人だけ。

目の前に座った女性の両脇には、きちんとした身なりの三、四十代くらいの男性と、仕事のできそうなOLらしき女性が座っていました。

若者が座ってしまう様子は見ていたようですが、三人揃って下を向いて携帯電話をいじっています。諦めて背後の優先席を見ると、やはりスーツを着た同年代の男女が座っています。ところが、一駅過ぎて二駅過ぎても、声をかける人も、席を立つ人もありませんでした。

私は、何とも情けない気分になってきました。もちろん、若い人でも体調が悪かったり心身が疲れていたりにして、立っていることが辛い時は誰にでもあるでしょう。また、一般席なら、

席を譲られないのもやむを得ないかも知れません。が、これだけたくさん大人のたちが皆無関心(を装う?)という状況に、私は今の日本の現実を見た気がしました。

我が国は災害時の譲り合いの精神やW杯でのごみ拾いなど、世界的にはとてもマナーのよい国だと認識されています。しかし、最近、日常の中では「江戸しぐさ」と呼ばれるような日本人らしいほんの少しの譲り合いや思いやりが著しく希薄になり、「俺が俺が」という雰囲気を感じるので、

優先席に座っていた人たちも子育て世代。もし、自分の子どもを連れていたならば全く態度が違ったのかも知れません。とはいえ、一人の時にこそ、本当の人間性が出るものです。たくさん勉強して学歴を高めたり、色々な習い事をしたりして様々なスキルを身に付けたりすることも必要かも知れませんが、それ以前に履歴書には書かれない「心」の価値が見失われはしないかと、少し心配になった出来事でした。

シリーズ 子育ての知恵 10人十色

土屋 功一

沢山の子どもたちと毎日関わっていると、改めて一人ひとりが違うことに気がきます。

毎日元気に、「おはようございませう！」と登園してくる子。お母さんとしっかり手を繋ぎ半分隠れながら小さな声で「おはようございます」とあいさつしてくれる子。

保育室を覗くと、主活動の課題をあとという間に終わらせてしまう子、一人で黙々と取り組む子、解らなくて不安そうに先生の姿を目で追っている子、なかなか「先生」と声を出せない子、先生はそんな子どもたちを注意深く観察し、できたことを褒め、時には少し手伝ってあげ、子どもたちができた達成感を味わえるように工夫しています。それが、次の成長のきっかけとなり、つながっていきます。子どもたちは、自ら成長する力を持っています。関わる大人は、応援団であり道先案内人であり、守り人である気持ちをもって、温かく見守ってあげませんか。安心して素直に成長してくれることでしょう。